

# 水産技術センター飼育棟恒温室空調設備改修工事

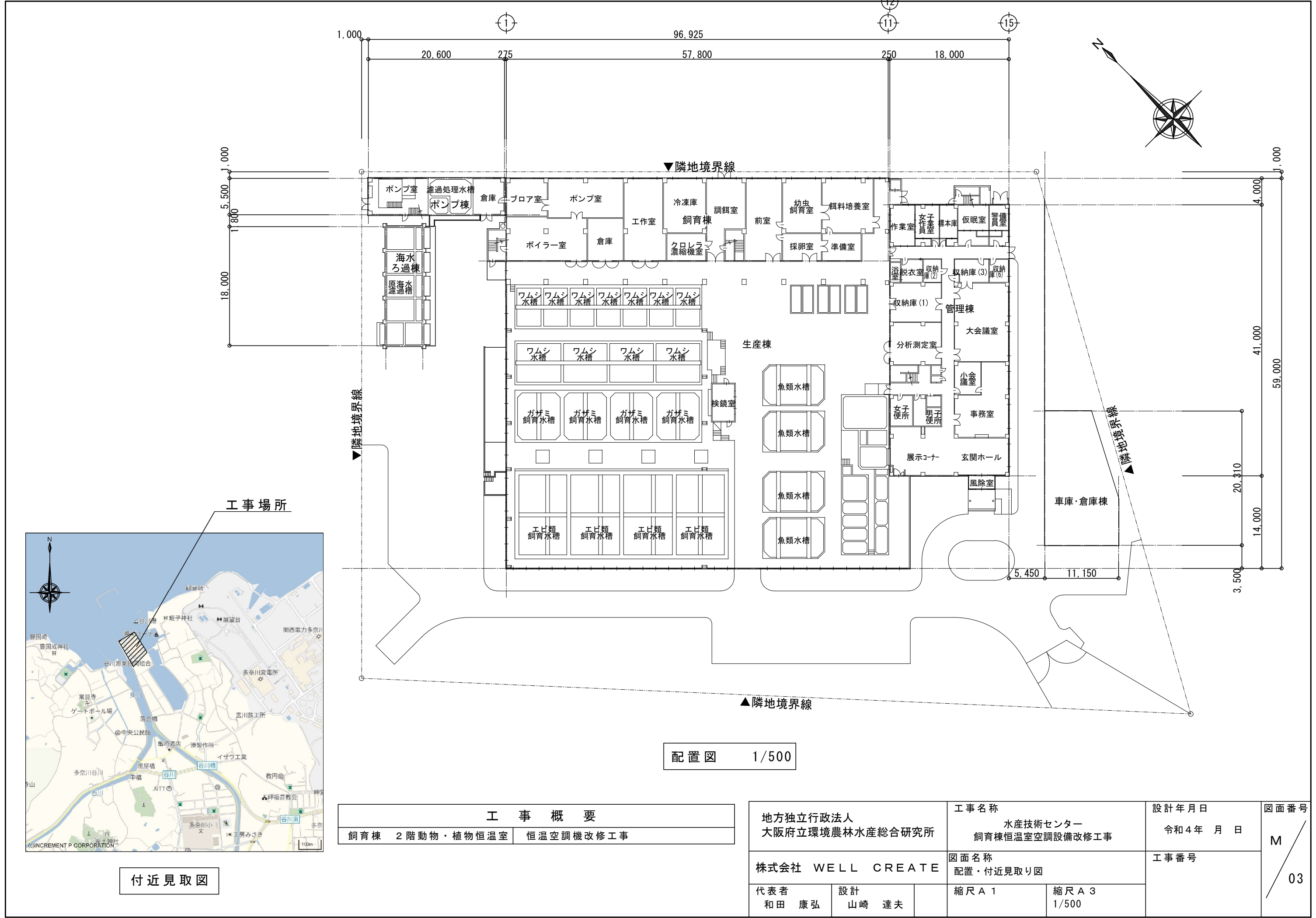
機 械			
番 号	名 称		
M-01	表紙・図面リスト		
-02	特記仕様書		
-03	配置図、付近見取図		
-04	飼育棟2階平面図		
-05	恒温室現況・撤去空気調和設備図		
-06	恒温室改修空気調和設備図		
-07	恒温室空気調和機制御系統図		

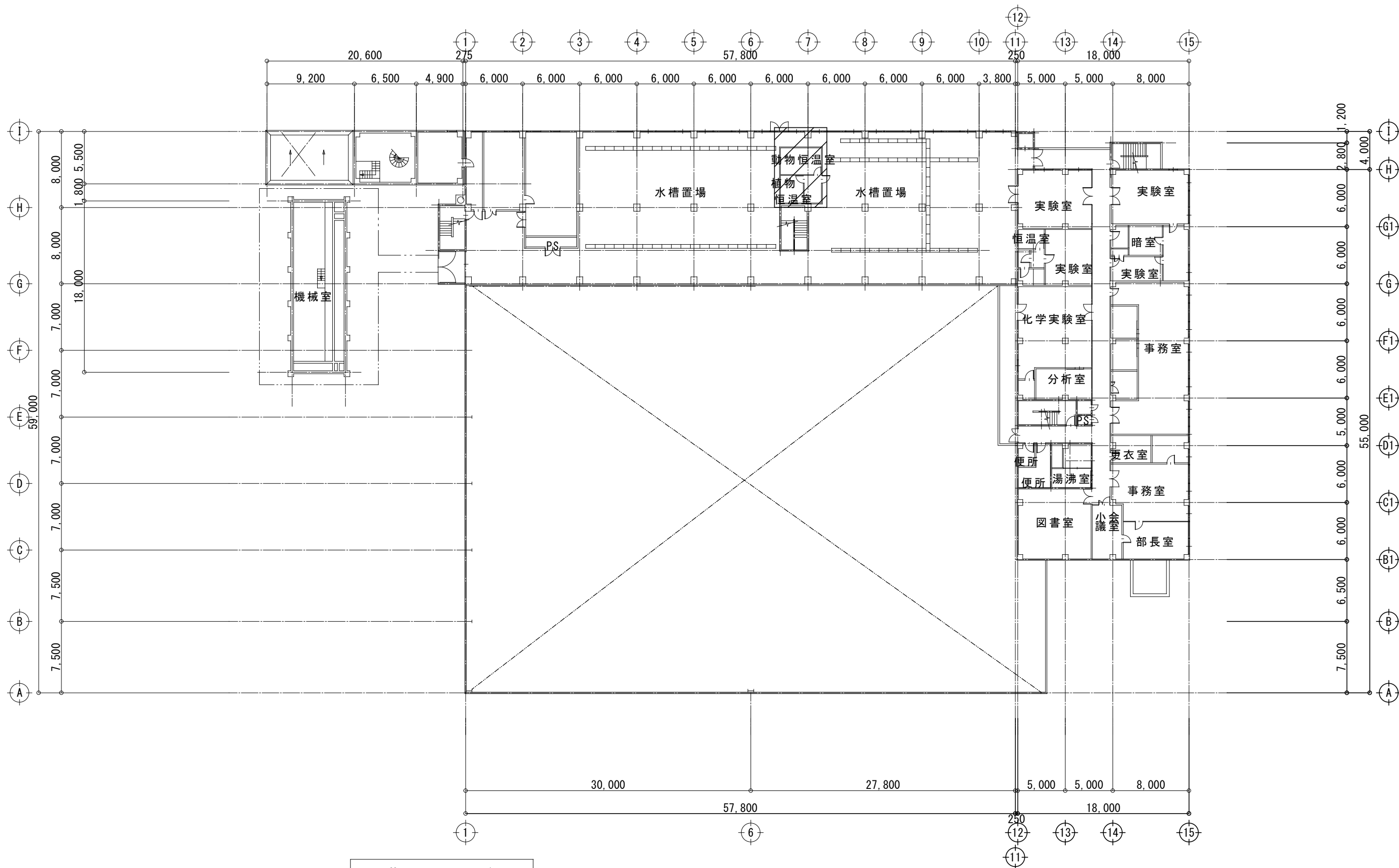
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 水産技術センター 飼育棟恒温室空調設備改修工事		設計年月日 令和4年 月 日	図面番号 M 01
株式会社 WELL CREATE		図面名称 表紙・図面リスト		工事番号	
代表者 和田 康弘	設計 山崎 達夫	縮尺A1 —	縮尺A3 —		

特 記 仕 様 書				(機械設備工事) 「●」を付けたものを適用する。 (但し 「●」の無いものは「※」を適用する。)			
Ⅰ. 設計概要							
工 事 名 称		令和4年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事					
工 事 場 所		大阪府泉南郡岬町多奈川谷川2926の2					
工 事 期 間		自 令和 4 年 月 日 至 令和 5 年 月 日					
工 事 種 目							
● ( 1 )				機械設備工事			
				備 考			
				空気調和設備更新工事			
				動物恒温室・植物恒温室			
Ⅱ. 一般事項							
施 工 基 準		本工事は図面・本特記仕様書及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）〔最新版〕及び公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）〔最新版〕（以下、標準仕様書という）					
		優先順位は、1. 現場説明書 2. 本特記仕様書 3. 図面 4. 標準仕様書とする。					
施 工 図 面		施工にあたっては、現場着工前に必ず既設設備状況を充分調査し、施工詳細図を作成の事。施工は監督職員の承認を受けた後に施工を行う事。					
		万ー設計図書について疑義が、あるときは必ず事前に監督職員と打合せを行い、その指示に従う。					
使 用 機 材		本工事に使用する諸材料並びに製作品は、諸取締規則並びにJ I S規格のあるものは、各々それに合格した品質優良な新品とし、見本品、又は製作詳細図を提出し、監督職員の承認を受けた後、正式に発注、製作に着手する。					
製 作 品 検 査		使用諸製作品の完成に際しては、性能試験は勿論のこと、形状・色彩についても細部にわたる自主検査を行い、それに合格した後現場へ搬入する。監督職員の指示のある場合は立会検査を行う。					
別 途 工 事 へ の 協 力 と 調 整		工事を完成するために、密接に関係する別途工事については、施工者は別途工事の施工に協力すると共に、円滑な工事進捗が行われるよう調整する。					
工 事 写 真		本工事施工については、監督職員の指示により工事写真・竣工写真を撮り、提出すること。部数については、監督職員の指示による。					
軽 微 な 変 更		設計図書に明記なくとも機能上・構造上当然必要と認められる軽微なものは、監督職員の指示に従い、本工事請負金の内で施工すること。					
完 成 引 渡		工事完成に際しては、予め施工者が検査を行った後、監督職員に報告し、所轄官公署の検査を受け、合格した後に監督職員の完成検査を受ける。					
		引渡しに際しては、官公署その他許可書、検査証、及び竣工図（サイズ、部数は監督職員より指示する）試運転データ、各種名札付キーを添えて引渡しを行う。					
		各種機械にはその製作者、製作月日、機器番号等の標示を監督職員指示の個所に附し、別にその機器の使用法、注意事項等の説明書を取揃え、提出する。					

工 事 保 証		施工者は、工事完成後でも工事の不完全納入品の欠陥に起因する故障は、一年間保証の責に任じ、直ちに修理又は良品と取替えること。	
仮設電力料金等		工事用、試験用の電力、上水、燃料等諸費用は本工事に含む。建築主に帰属する設備よ	
		備より供給を受ける場合は、必要な個所に計量器を設け、竣工引渡し時に監督職員立合	
		いのもとに計量器を読みとり清算措置をとるものとする。又受電後、引渡しまでの電気	
		基本料金及び電気使用料金は本工事に含む。	
現 場 の 納 ま り		本設計図書は工事の概要を示すものであるから、詳細・位置等については監督職員と打	
		合せの上、その指示に従い施工のこと。	
施 工 管 理 責 任		施工者は契約図書（施工基準に示す）の内容の工事を完成するために施工計画を立て、	
		実施するに当たり、工程管理、品質管理、出来高管理、安全管理などを責任をもって、	
		行うこと。	
空 調 機 器 設 備			
● 空 調 機 器		○エアハンドリングユニット ○ファンコイルユニット	
		●パッケージ型空調機 ( ●設備用空冷床置き型)	
		○ビル用マルチエアコン ○システムマルチ (ハウジング)	
● 防 振 架 台		●室外機	
● 計 量 器		●環境用計測コントローラー	
配 管 設 備			
● 配 管 の 種 類		○冷温水 ○冷水 ○温水 ○冷却水 ●ドレン ○給水 ●冷媒	
		○膨張 ○蒸気 (○低圧 ○高圧) ○油 ○熱源水	
● 配 管 の 支 持		●SUS製 ○鋼製	
● 配 管 の 保 温		●グラスウール、合成樹脂カバー	
ダ ク ト 設 備			
● ダ ク ト の 種 別		●低速ダクト ●高速ダクト (スパイラルダクト)	
● ダ ク ト の 材 質		●鋼板 (亜鉛引き) ○ステンレス鋼板	
● 吹 出 口 ・ 吸 込 口		○アルミ製 ●鋼板製 (結露防止型) ○既存再使用	
● 風 量 測 定 口		空調機出入口 (○A、E A含む。)に取付	
そ の 他 の 特 記 事 項			
1) 施工にあたっては、現場着工前に必ず既設躯体・設備状況を充分調査し、施工計画を立てる事。			
特に図面指示がない場合にも、設備上、必要な措置は施工者の責任において実施すること。			
2) 図示にない建築躯体の穴あけ、はつり等の必要が生じた場合、必ず現場係員の了解を得る事。			
又、穴あけに関してはダイヤ穿孔とし、事前に鉄筋探査を実施し、鉄筋 (主筋) には損傷を与えない事。			
3) 既存ドレン配管流用の場合、洗浄を実施すること。漏水の有無を確認すること。			
4) 各室外機には、転倒防止処置を施すこと。			
5) 露出配管は全て塗装工事 (OP2回塗り) を施すこと。			
6) 撤去機材等の廃棄処分については、産業廃棄物処理に関する法令等に則り、適正に処分すること。			
空調機撤去に伴う冷媒ガスの処理は、法令に則り破壊処理を実施する事			

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 水産技術センター 飼育棟恒温室空調設備改修工事		設計年月日 令和4年 月 日		図面番号 M 02
株式会社 W E L L C R E A T E		図面名称 機械設備 特記仕様書		工事番号		
代表者 和田 康弘	設計 山崎 達夫	縮尺A 1	縮尺A 3 —			





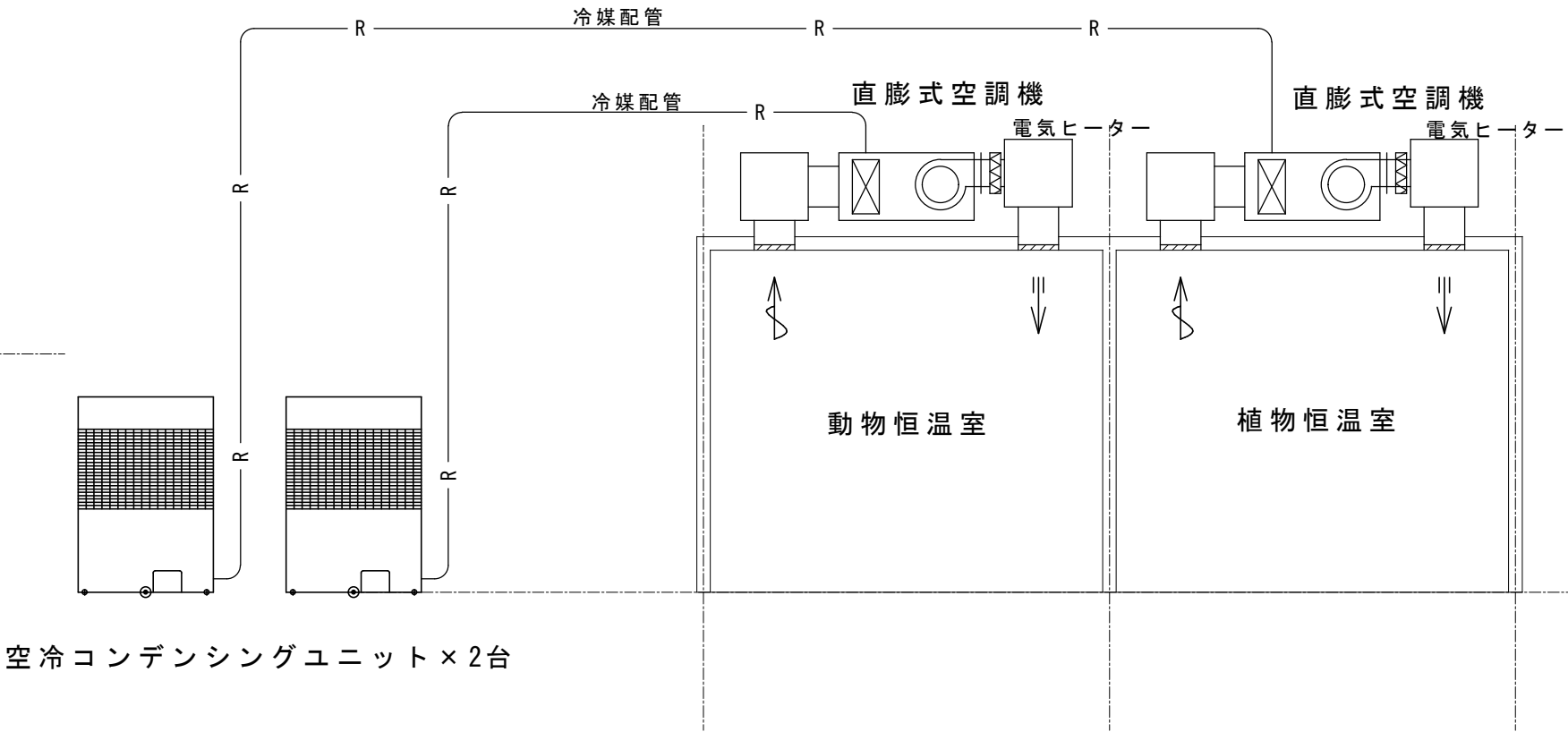
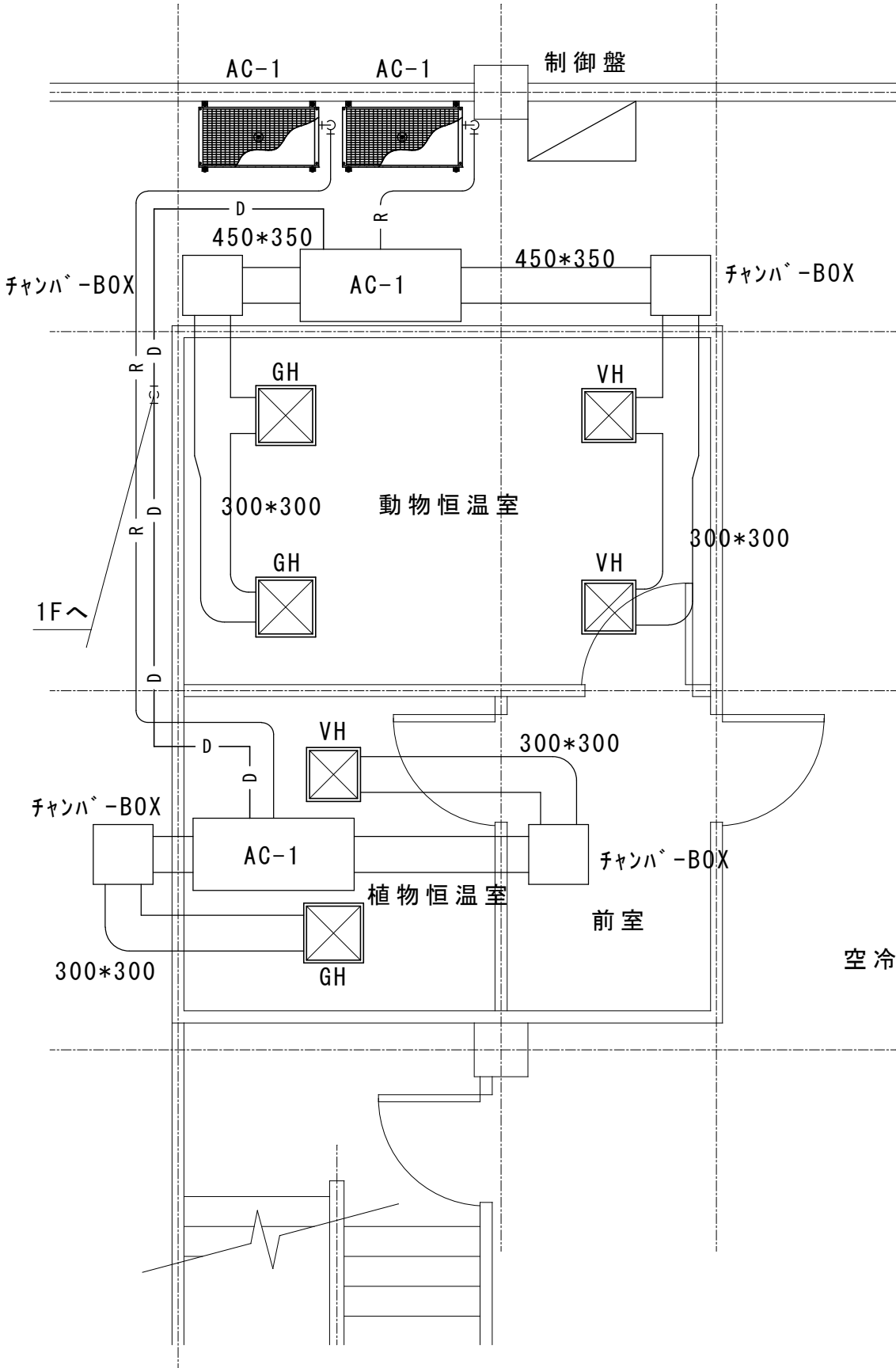
2階平面図 1/400

凡例  
は今回改修範囲を示す

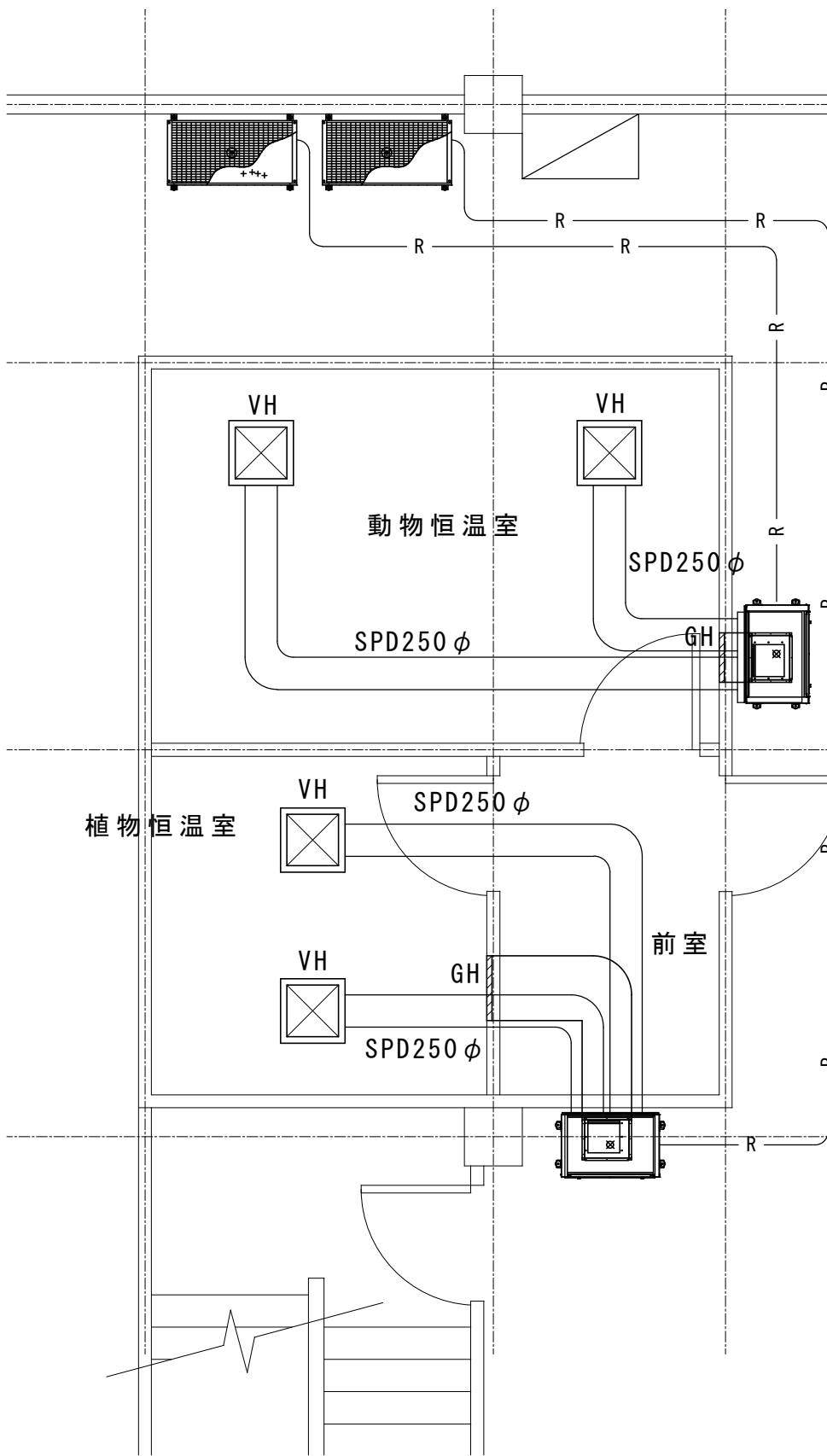
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 水産技術センター 飼育棟恒温室空調設備改修工事		設計年月日 令和4年 月 日	図面番号 M 04
株式会社 WELL CREATE		図面名称 飼育棟2階平面図		工事番号	
代表者 和田 康弘	設計 山崎 達夫	縮尺 A 1 1/400	縮尺 A 3 1/400		

撤去 機器表

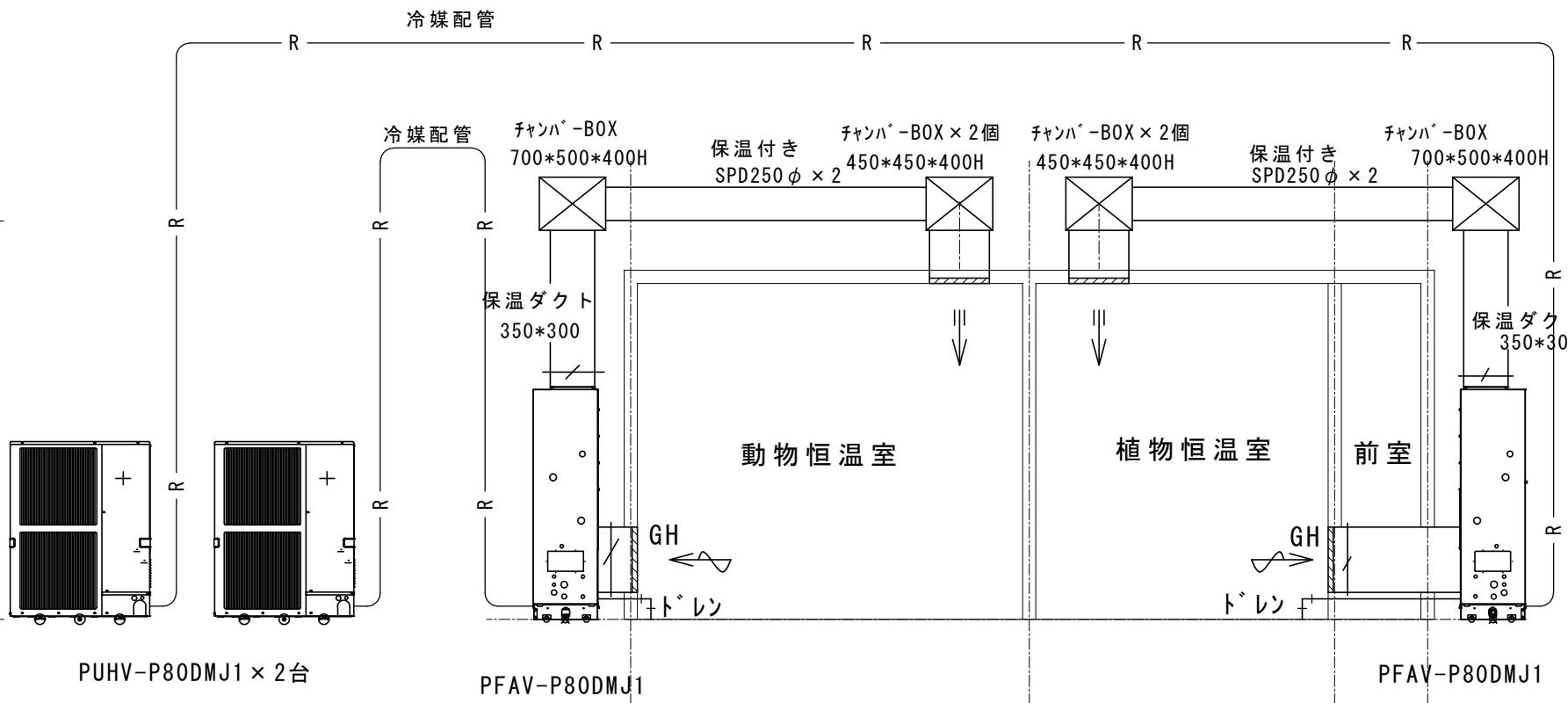
記号	仕 様	型 式	台 数
AC-1	一体空冷式密閉形コンデンスユニット      冷媒    HCFC (R22)	ERA-37C1-BS  (三菱電機)	2組
	出力   3.7kw      消費電力   4.4/5.4kw      三相   200V		
	天井埋め込み室内機    ダクト接続型		



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 水産技術センター 飼育棟恒温室空調設備改修工事	設計年月日 令和4年 月 日	図面番号 M 05
株式会社 WELL CREATE		図面名称 恒温室現況・撤去空調設備図	工事番号	
代表者 和田 康弘	設計 山崎 達夫	縮尺 A 1	縮尺 A 3 1/50	



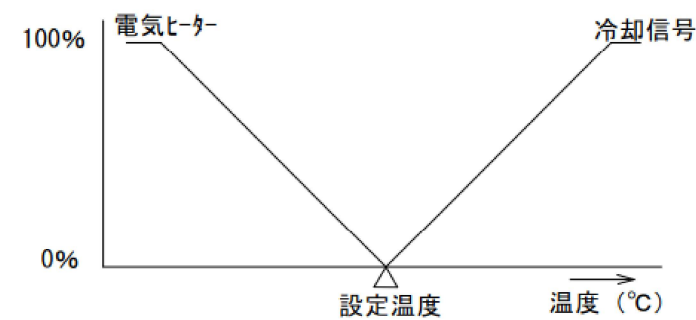
記 号	仕 様	参考型式	台 数
AC-1	設備用パッケージエアコン空冷床置型・冷暖兼用	PFHV-P80DMJ1 (室内、室外セット品番) (三菱電機)	2組
	冷媒：R410A 9.52/15.88φ		
	冷房能力 7.1kw 暖房能力 8.0kw 3φ200V		
	室外機置き架台 耐塩害仕様 転倒防止 集中ドレンパン		
	ダクトフランジ ワイヤードリモコン 電気ヒーター等		



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 水産技術センター 飼育棟恒温室空調設備改修工事	設計年月日 令和4年 月 日	図面番号 M 06
株式会社 WELL CREATE		図面名称 恒温室改修空調設備図	工事番号	
代表者 和田 康弘	設計 山崎 達夫	縮尺 A 1 縮尺 A 3 1/50		

1. 温度制御

- ・室内温度が設定値となるように圧縮機と電気ヒーターの比例制御を行う。

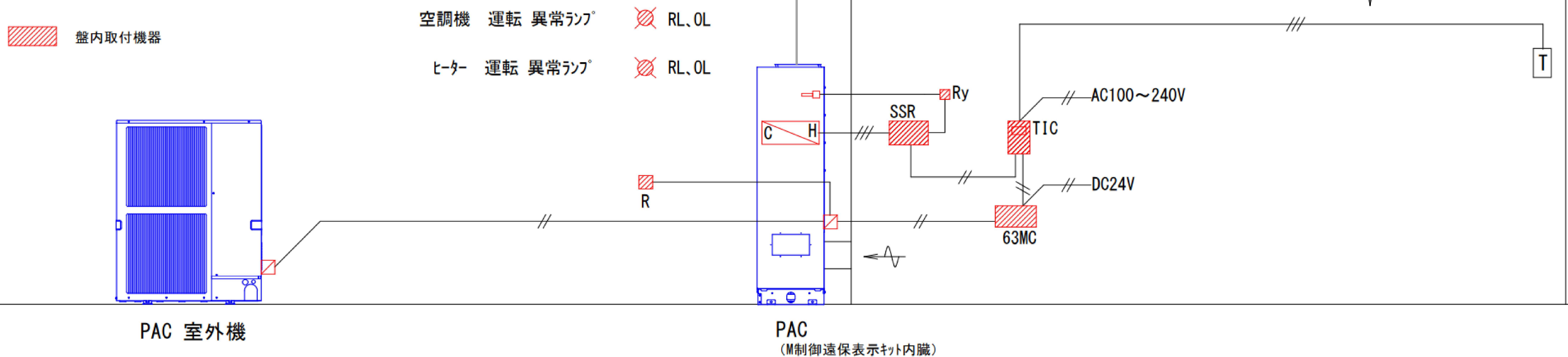


2. 過熱防止制御

- ・ケシング内異常温度上昇時、過熱防止サーモ作動により、電気ヒーターの強制停止を行う。

3. ファンインターロック制御

- ・空調ファン停止時は、電気ヒーターを停止とする。



## 制御系統図

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 水産技術センター 飼育棟恒温室空調設備改修工事		設計年月日 令和4年 月 日	図面番号 M 07
株式会社 WELL CREATE		図面名称 恒温室空気調和機制御系統図		工事番号	
代表者 和田 康弘	設計 山崎 達夫	縮尺 A 1	縮尺 A 3	—	